



秋季全国火災予防運動

11月9日～15日

全国統一防火標語

「消すまでは 出ない行かない 離れない」

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的としています。

日頃から、一人ひとりが火を取扱うことに責任感を持っていただき、安心・安全な国東市を目指して火災予防に努めてください。

住宅防火 7つのポイント

3つの習慣

- 1 寝たばこは、絶対やめる
- 2 ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- 3 ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

4つの対策

- 1 逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を設置する
- 2 寝具、衣類やカーテンから火災を防ぐために、防災品を使用する
- 3 火災を小さいうちに消すために住宅用消火器を設置する
- 4 お年よりや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

住宅用火災警報器の維持管理は大丈夫ですか？

住宅用火災警報器は設置義務化から、約1年6カ月が経過しました。せっかく取り付けた警報器も、いざというときに正常に機能しなければ意味がありません。日ごろの維持管理が大切です。

◎お手入れはしていますか？

警報器はホコリなどが付くと感知しづらくなります。1年に1回程度布等でからぶきをしてください。

◎作動テストをしましょう！

警報器のボタンを押すと、テスト音が鳴ります。音が鳴らない時は次のことを確認しましょう。

●電池がきちんとセットされていますか？電池切れではありませんか？

⇒それでも鳴らない場合は故障が考えられます。取扱説明書をご確認ください。

●電池交換時期を確認しましょう！

⇒電池切れのときは音声でお知らせするか、ピッピッピッと音が鳴ります。電池寿命は機種により異なりますので、本体裏側の表示をご確認ください。

大分空港で救難総合訓練を実施

9月26日（水）、大分空港航空機事故消火救難総合訓練が、大分空港事務所、大分DMAT、地元医師会、市消防本部など多くの関係機関が参加して実施されました。消火や救助訓練などが行われ、特に救急訓練では、負傷者を重症度などで分類するトリアージに重点をおき、医師や隊員相互の連携について確認しました。また、今回は大分ドクターヘリ、県防災航空隊、自衛隊などのヘリコプターを活用した救急搬送訓練も同時に実施されました。



平成24年1月～9月30日までの出動件数



火災出動は **18件**
昨年同期は 27件



救急出動は **1040件**
昨年同期は 1085件



救助出動は **16件**
昨年同期は 18件